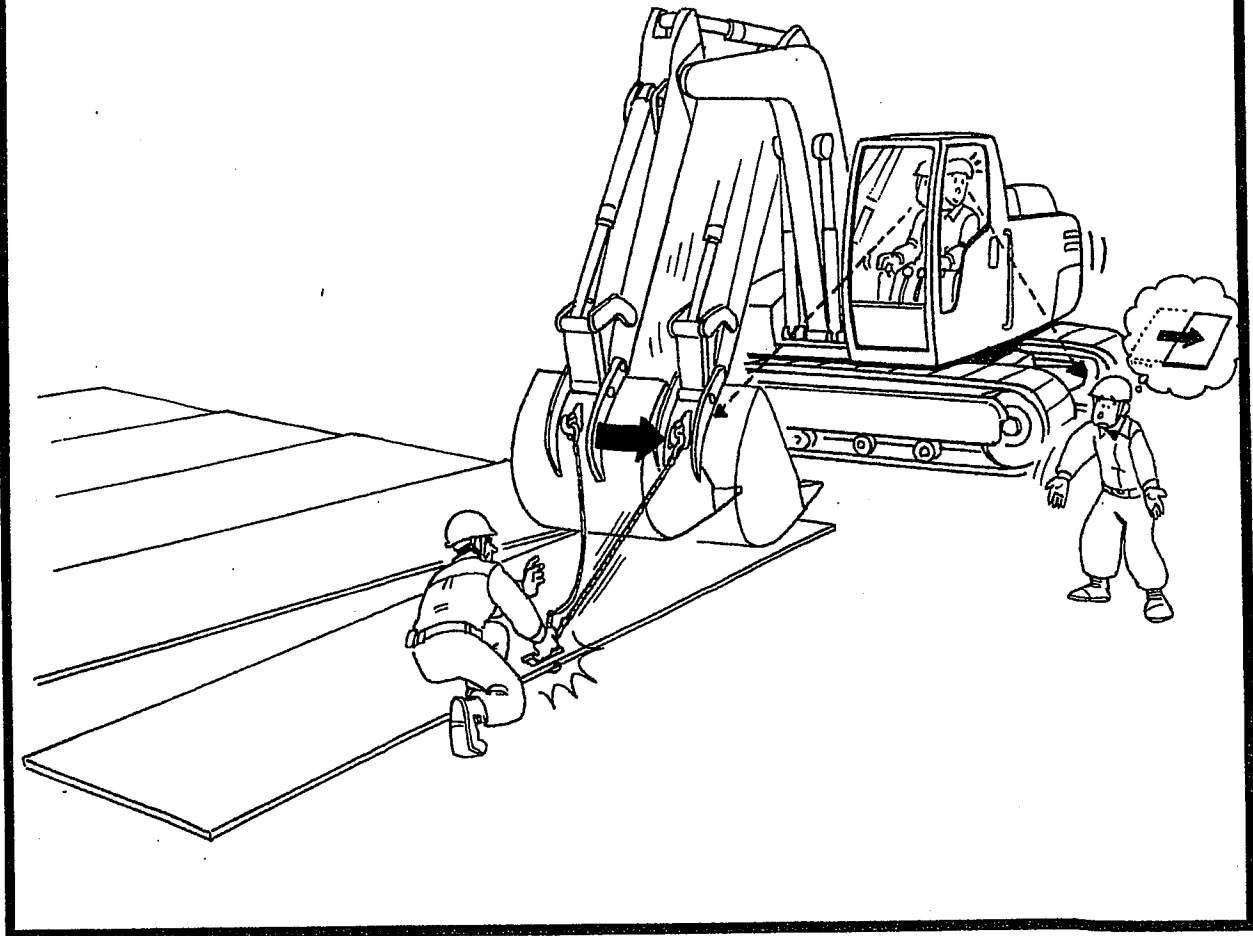
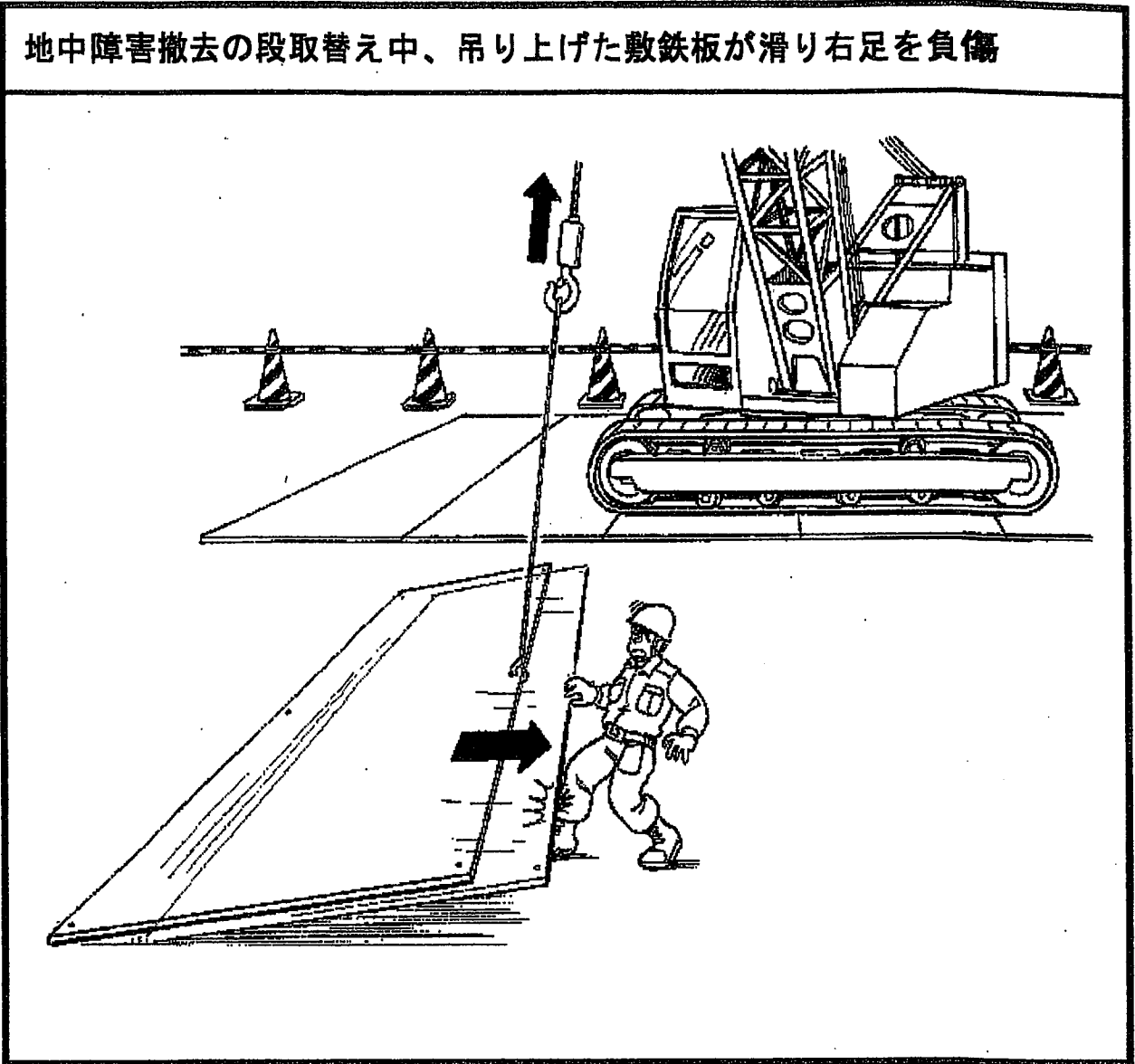


バックホウで敷鉄板移動中、鉄板とフックに指を挟まれ負傷



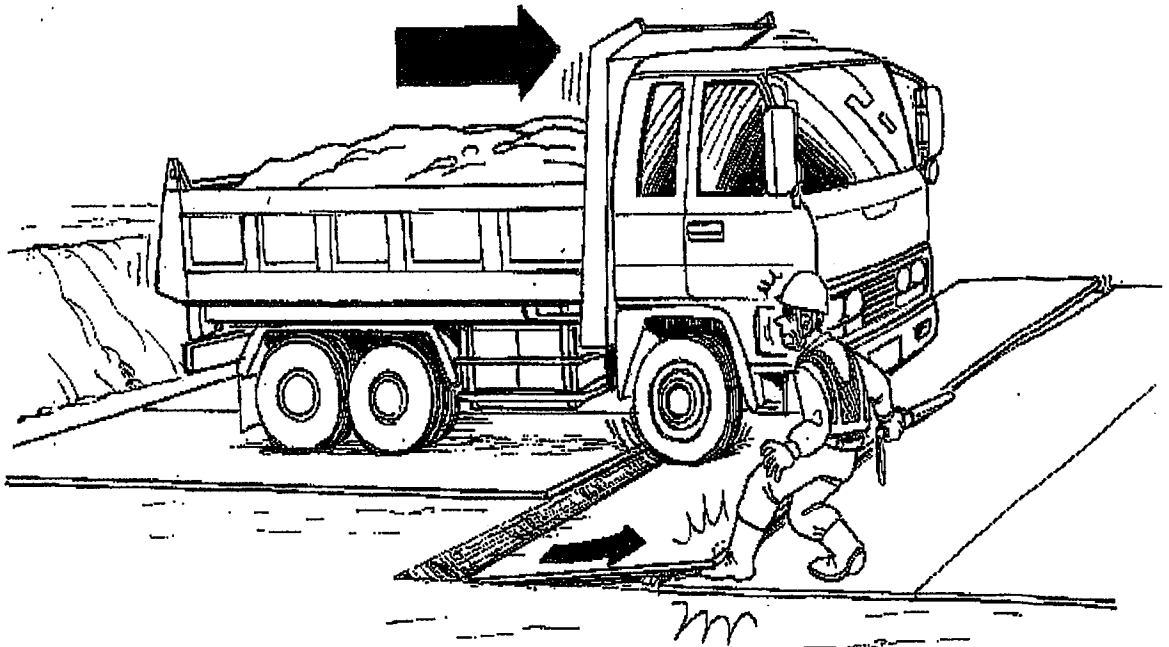
建築	工種:杭・地業工事		事故の型:はさまれ・巻き込まれ
事故の分類	発生日時・天候:2000. 9. 22(金) 14:00 曇		起因物 :バックホウ
	被災内容:指複雑骨折及裂傷	損失日数:16日	職種 :杭打工
	経 験:22年1ヵ月	年 齢:67才(男)	請負関係:3次
事故の発生状況	発生状況	バックホウ(0.4m ³)にて鉄板移動作業中(用途外使用)、被災者が玉掛け外し作業を行っていた際、別の作業員が鉄板の重なりをずらすようジェスチャーをしたところ、オペレータが合図と間違えてブームを手前に引いたため、被災者は鉄板とフックに指先を挟まれ負傷した。	
	原因	<ul style="list-style-type: none"> ・合図の確認がなされていないかった。 ・バックホウを用途外使用した。 	
	対策	<ul style="list-style-type: none"> ・重機を動かす際は合図の確認を必ず行う。 ・バックホウの用途外使用を絶対にしない。 	

地中障害撤去の段取替え中、吊り上げた敷鉄板が滑り右足を負傷



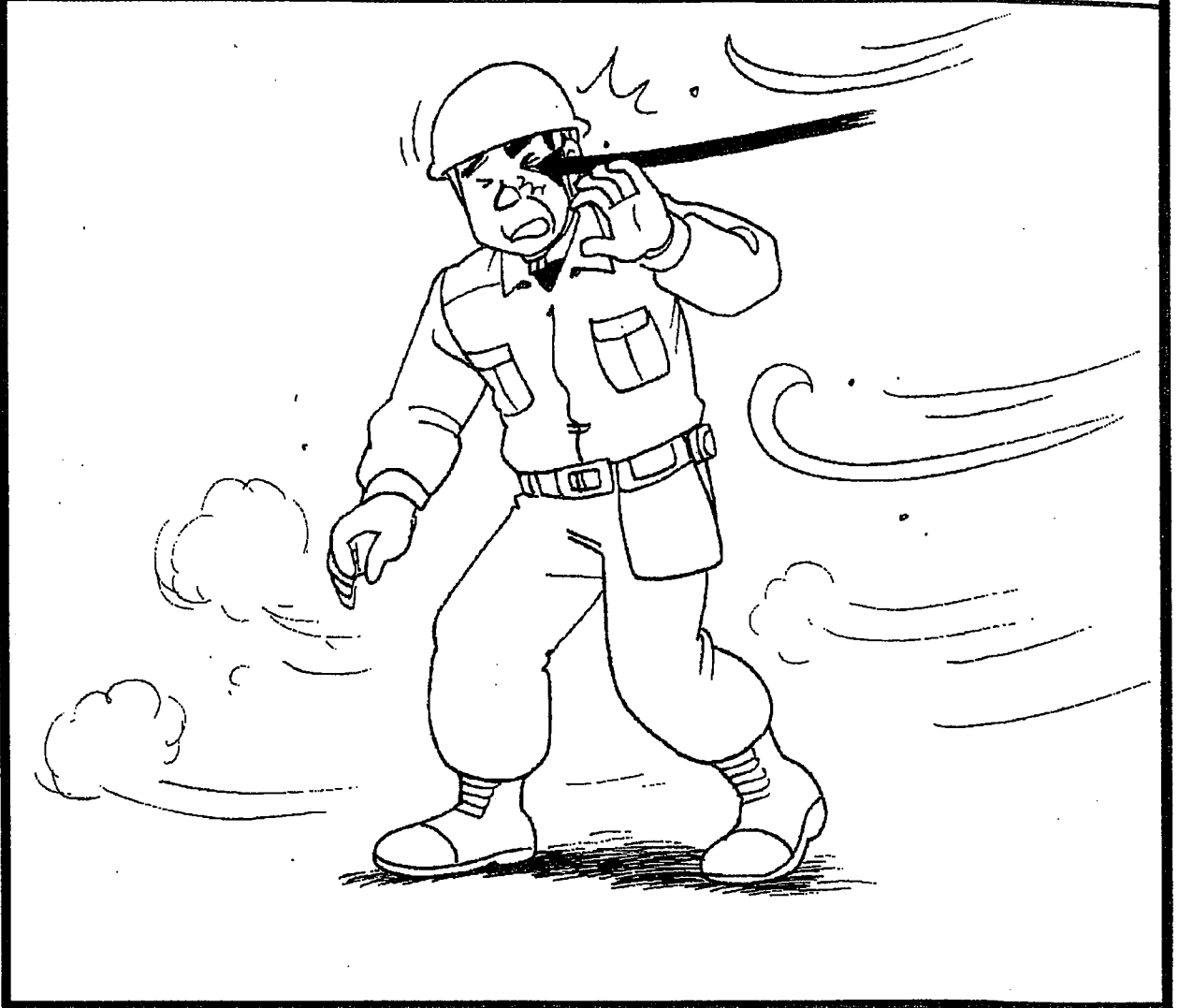
建築	工種: 杭・地業工事	事故の型: 激突され
事故の分類	発生日時・天候: 2001.2.9 (金) 16:00 晴	起因物: クローラクレーン
	被災内容: 右脛部・腓骨骨折	損失日数: 36日
	職 種: 杭打工	請負関係: 2次
事故の発生状況	経 験: 0年6ヵ月	年 齢: 24才(男)
	発生状況	被災者は段取替えのため、80tクローラにて敷鉄板を吊り上げた際、吊り上げた敷鉄板が滑って左足下肢を受傷した。
	原因	オペレータ及び合図者は危険の予測を怠った。
対策	対策	吊荷の重心を確認し玉掛けを行う。
		吊荷の移動方向には極力立たない。

ダンプ誘導中、発進時に敷鉄板が跳ねてずれ、左足を鉄板に挟まれ骨折



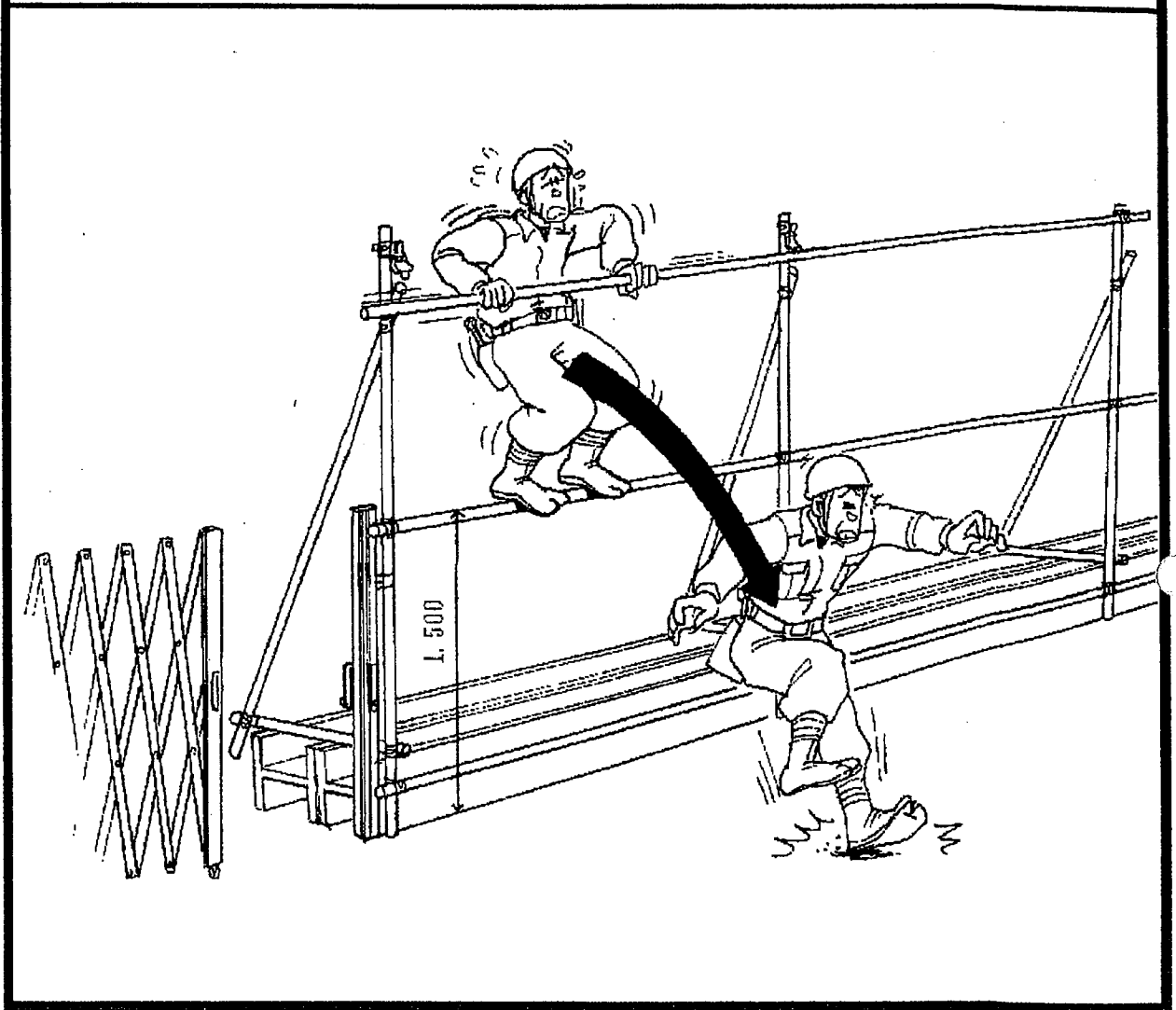
建築	工種: 山留・土工事	事故の型: はさまれ・巻き込まれ
事故の分類	発生日時・天候: 2001.1.13 (土) 15:35 曇	起因物: ダンプトラック
	被災内容: 左第二中足骨骨折	損失日数: 34日
	職 種: 普通作業員	請負関係: 3次
事故の発生状況	経 験: 8年4ヵ月	年 齢: 59才(男)
	発生状況	被災者は掘削土の搬出のためダンプの誘導を行っていた際、ダンプ走行路上に敷いていた敷鉄板 (1.5m×6.0m、厚22mm) が、ダンプの発進時に跳ね上がり、ずれたため、鉄板と鉄板の間に足を挟まれた。
	原因	被災者は安全靴を履いていなかった。 敷き鉄板のずれ止めが行なわれていなかった。
対策	安全靴(安全長靴)を着用する。 敷き鉄板はずれ止めを行なう。	

強風により目に異物混入



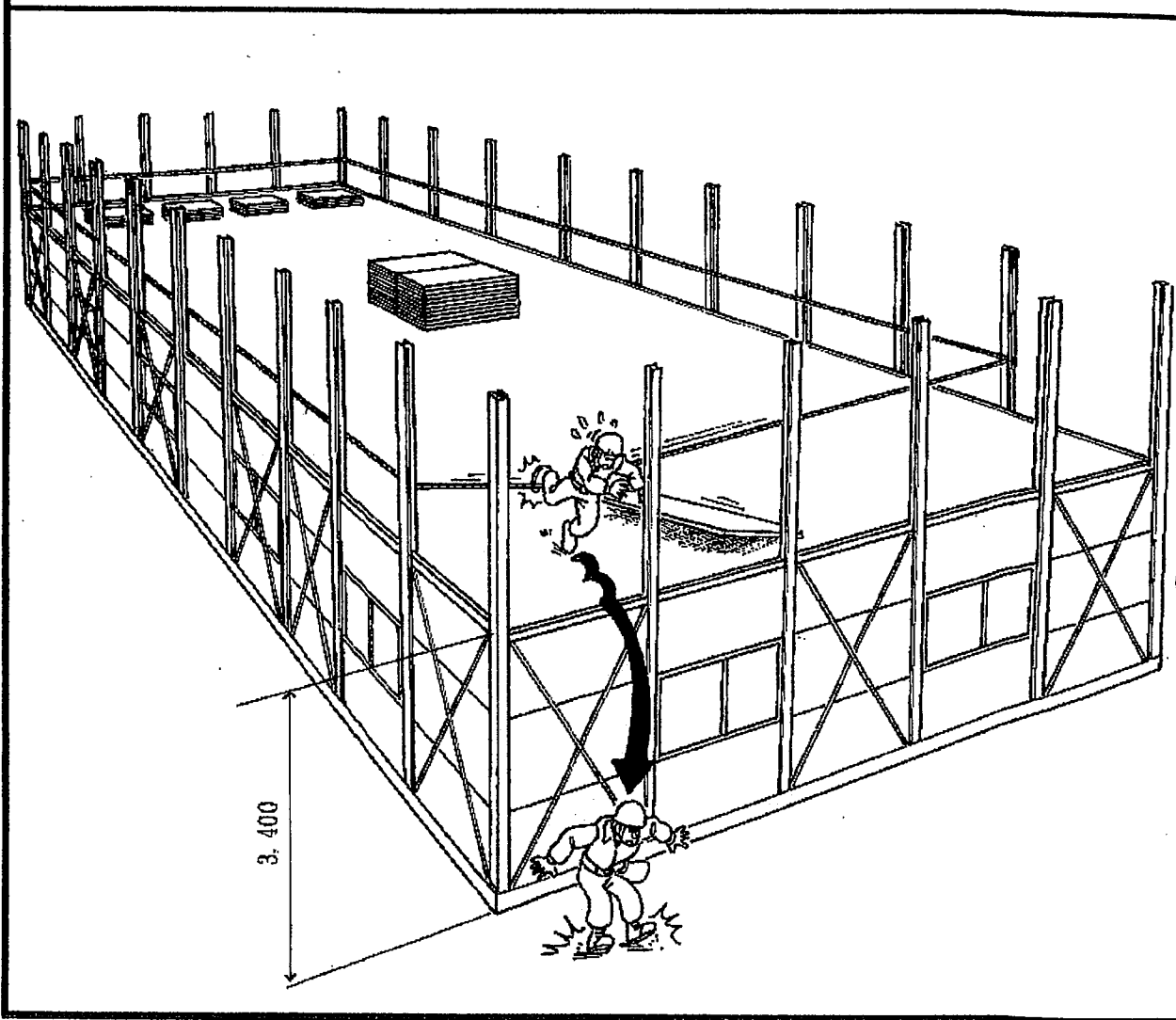
建築	工種:山留・土工事		事故の型:飛来・落下
事故の分類	発生日時・天候:2000. 9. 12(火) 14:00 曇		起因物 :分類不能
	被災内容:左眼角膜潰瘍	損失日数:24日	職種 :とび工
	経 験:2年5ヵ月	年 齢:50才(男)	請負関係:2次
事故の発生状況	発生状況	山留用芯材の吊込作業中、強風により目の中に異物が入った。一週間後、病院に行ったところ、角膜に傷があり、炎症を起こしていた。	
	原因		
	対策		

仮囲い復旧中、バランスを崩し飛降り骨折



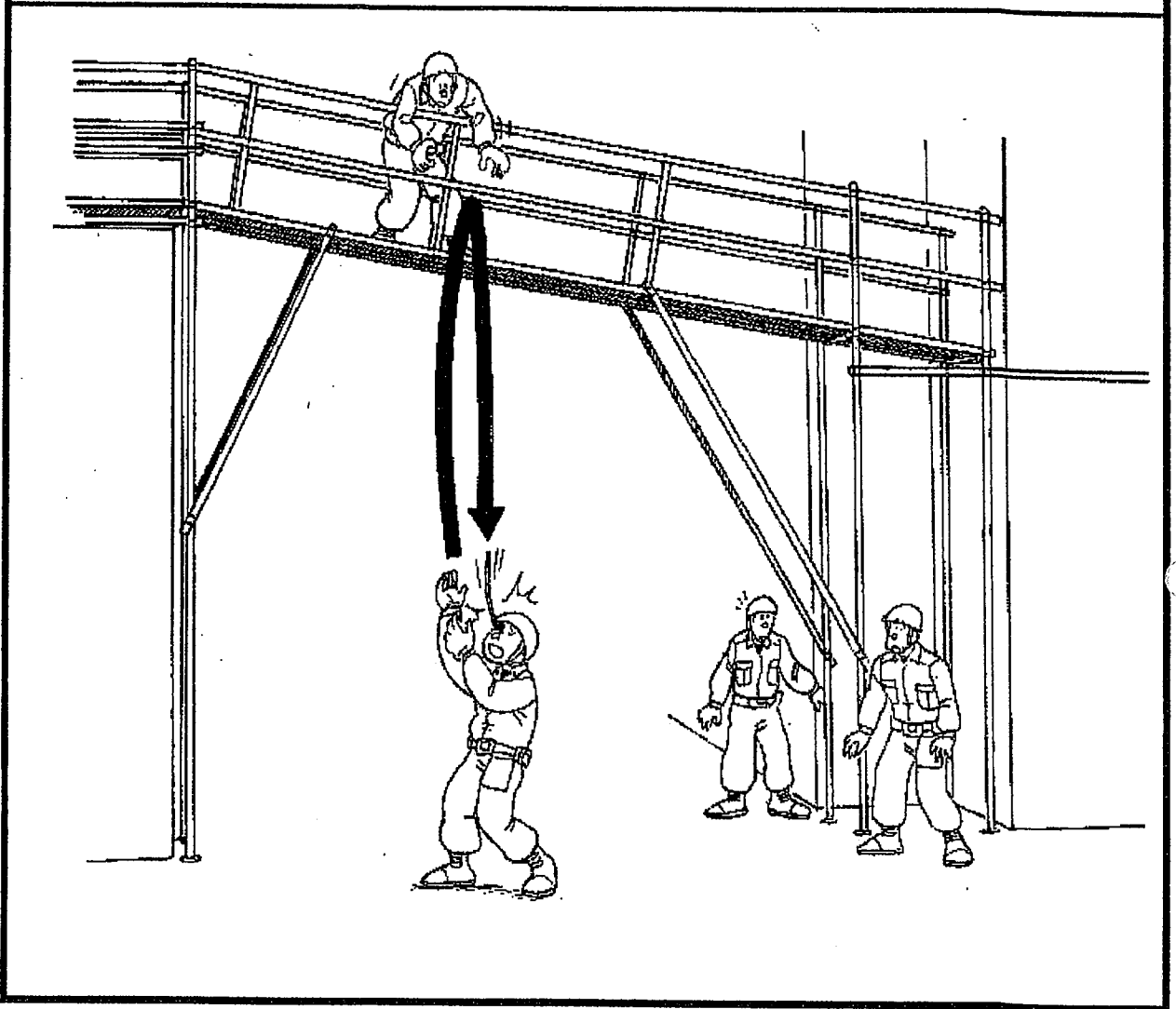
建築	工種: 共通仮設工事		事故の型: 墜落・転落
事故の分類	発生日時・天候: 2000. 5. 8(月) 10:00 晴		起因物 : 単管
	被災内容: 左足踵骨折	損失日数: 28日	職種 : とび工
	経 験: 30年0ヵ月	年 齢: 63才(男)	請負関係: 3次
事故の発生状況	発生状況	仮囲い復旧のため上段の短観パイプを取付け中、バランスを崩し中断の単管の布地(1.5m)から敷地外へ飛降り、左足踵を骨折した。	
	原因	・不安定な状況(単管パイプ上)で作業を行った。	
	対策	・立馬等の足場を使用して作業する。	

壁パネルを手に持ち親綱を跨ぐ際、足を引っ掛け1階へ飛び降り骨折



建築	工種: 共通仮設工事		事故の型: 墜落・転落
事故の分類	発生日時・天候: 2000.11.27 (月) 14:40 晴		起因物: 仮設建物
	被災内容: 踵骨折	損失日数: 17日	職種: とび工
	経 験: 17年8ヵ月	年 齢: 35才 (男)	請負関係: 2次
事故の発生状況	発生状況	2階壁パネルを2~3枚ずつ各建込み場所へ振り分ける作業で被災者は壁パネルを手に持ち、1スパン手前の親綱を跨いだ時に親綱に足を引っ掛けてバランスを崩し、2階床(高さ3m)から1階外部へ飛び降り、左足踵を骨折した。	
	原因	被災者は親綱・安全帯を使用していなかった。 親綱の設置位置が悪かった。	
	対策	開口部作業はその都度、親綱・安全帯を使用する。	

落下してきた番線を取り損ねて右目に刺さる



建築	工種: 直接仮設工事		事故の型: 飛来・落下
事故の分類	発生日時・天候: 2001.3.31 (土) 9:05 雨		起因物: 帯材, 線材
	被災内容: 右眼刺傷	損失日数: 24日	職種: とび工
	経 験: 0年5ヵ月	年 齢: 18才(男)	請負関係: 2次
事故の発生状況	発生状況	耐火被覆プラント機械小屋と建屋2階床とを接続する架設通路を組立中、番線が不足したため、1階にいた被災者が通路作業者に番線を投げたところ届かず、落下した番線が目に刺さった。	
	原因	合番者が番線を投げた。	
	対策	資材を渡す際は、絶対に投げない。	